



そんけい すべき ムスリム の みなさま！

ぜんのおのしゅ (swt) は、つぎのしょうくにおいてこうつげておられます。「……あなたがたが、そのみなにおいてたがいにたずねあうアッラーを、またしきゅう [からしょうじゅる けつえん] をおそれなさい。ほんとうにアッラーは、いつもあなたがたをみまもっている。……」¹

また、ハディースをとおして、よげんしゃ 齋 はいかのようにかたっています。「かてをふやし、ちようじゅをまっとうしたいとねがうなら、しんせきとのきずなをたもつようにしなさい。」²

しんあいなるしんこうしゃのみなさま！

わたしたちしんこうしゃがまもるべきもっともたいせつなかちかんのひとつが、スィラート・アツ＝ラヒームです。スィラート・アツ＝ラヒームとは、かぞく、しんせき、りんじんとよいかんけいをきづくことをいみます。かれらとのきずなをこわすことなく、よろこびもかなしみもわかちあい、こまっていたらたすけにかけつけ、たおれたときはおきあがるようてをさしのべ、おもいやりとやさしさ、あいじょうをもってたがいにささえあうことです。

しんあいなるしんこうしゃのみなさま！

わたしたちは、テクノロジーがめまぐるしくしんぽするじだいをいきています。いつでもすきなときにちきゅうのうらがわにいるひととれんらくをとることができ、おんせいでも、ビデオでもやりとりすることができます。しかしこうしたはってんとはうらはらに、わたしたちのたがいのきよりはひにひにとおざかり、もっともちかしいはずのりょうしんでさえないがしろにしているようにおもえます。ひをおうごとに、わたしたちはますますこじんかし、ぐんしゅうのなかにいながらにしてこりつしてゆきます。げんだいにおいては、こどくのなかにみすてられ、いとしいわがこのおとずれをまちのぞむさびしいりょうしんがかずおおくそんざいします。じぶんたちにかんしんをよせてほしいとおもっているしんせきがかずおおくそんざいします。なやみごとをうちあけ、すこしでもこころをかるくしたいとのぞむしたいひとたちがたくさんいます。あいさつやこころからのえがお、したしみやあたたかさをもとめるりんじんがたくさんいます。

しんあいなるムスリムのみなさま！

じひのきかいであるスィラート・アツ＝ラヒームをすてさることのないようにしましょう。しゅくふくをうしなうことのないようにしましょう。りょうしんをこうふくにしましょう。しんせきのやさしさとまごころ、こえかけやこころからのえがおをおしまないようにしましょう。けっこんしき、イード、そうしきのさいには、かれらをひとりにしないようにしましょう。ねんちようしゃをうやまい、しんせきをこうふくにすることを、こどもたちがわたしたちじしんをとおしてまなべるようにしましょう。わかちあうことでよろこびはまし、かなしみはへるということ、わかひひとたちがわたしたちじしんをとおしてまなべるようにしましょう。

こんしゅうのホトバを、アッラーのしと 齋 のつぎのハディースをもっておわります。「スィラート・アツ＝ラヒームはアツ＝ラフマーンであるアッラーからもたらされる。しんせきとのきずなをたもつものとは、アッラーもきずなをたもってくださる。きずなをたつものとは、アッラーもきずなをたたれる。」³

¹ Nisa, 4/1.

² Bukhari, Adab, 12.

³ Tirmidhi, Birr, 16.